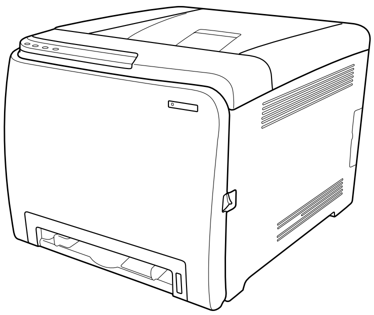
RICOH

IPSiO SP C220

使用説明書
〈ソフトウェアガイド〉



ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機のご利用にあたって』「安全上のご注意」をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの
（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）
・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
・日本や外国の郵便切手、印紙
（関係法律）
　・紙幣類似証券取締法
　・通貨及証券模造取締法
　・郵便切手類模造等取締法
　・印紙等模造取締法
　・（刑法 第１４８条 第１６２条）

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの
・外国の紙幣、貨幣、銀行券
・株券、手形、小切手などの有価証券
・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
（関係法律）
　・刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
　・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの
著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

♦ 安全上のご注意



本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。
故障やけがを防ぐため、本機のご利用前に必ずお読みください。

♦ かんたんセットアップ



本機に同梱されています。プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続するまでの手順を説明しています。

♦ クイックガイド



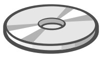
本機に同梱されています。困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

♦ Windows ネットワークセットアップガイド



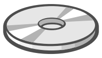
本機に同梱されています。Windows ネットワーク環境でのプリンタードライバーのインストール手順を説明しています。

♦ ハードウェアガイド



付属の CD-ROM に、Web ブラウザでお読みいただく HTML 形式の電子マニュアルが収録されています。用紙に関する情報、消耗品の交換手順、印刷が はじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本 機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

♦ ソフトウェアガイド（本書）



付属の CD-ROM に、Web ブラウザでお読みいただく HTML 形式の電子マニュアルが収録されています。プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

♦ 管理者の方へ



本機に同梱されています。管理者の方への補足情報がまとめられています。
管理者の方が大切に保管してください。

マークについて

本機で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

✱安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

✱安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

目次

1. 印刷するための準備

2. プリンタードライバー画面と設定方法

3. いろいろな印刷

4. 機器の監視

5. プリントサーバーを使用する

6. Windows の補足情報

7. Mac OS X で使用する

8. 付録

1. 印刷するための準備

1

この章では、本機に同梱されている CD-ROM からドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについて説明します。

接続方法を確認する

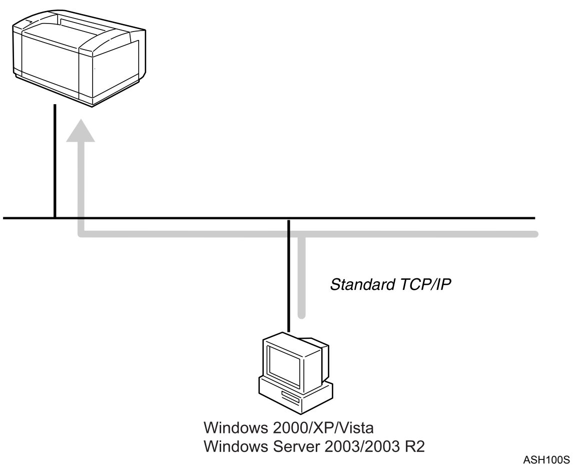
本機は、ネットワーク接続またはローカル接続できます。
プリンタードライバーをインストールする前に、本機をネットワークまたはローカルのどちらの環境で接続したかを確認し、それぞれのインストール方法に従って、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへのダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）やサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の OS によって使用できるポートが異なります。使用可能なインターフェースはイーサネットです。
本機を Windows の印刷ポートとして使用するときのドライバーのインストール方法については、「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。



1

◆ **対応する OS**
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2

◆ **接続方法**
イーサネット（10baseT/100baseTX）

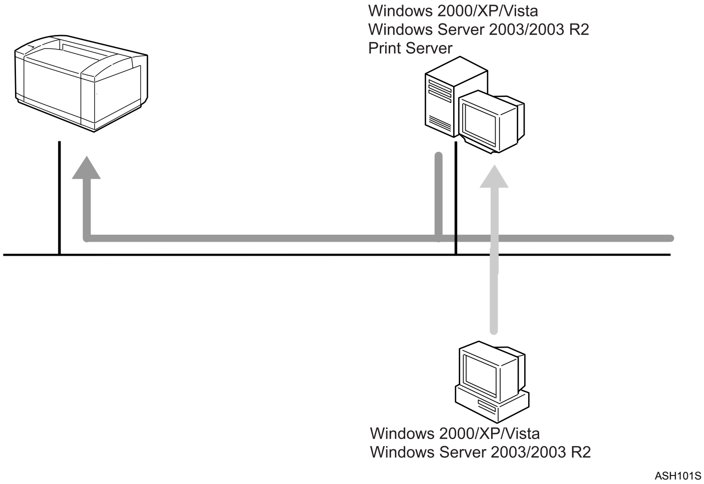
◆ **使用できるポート**
Standard TCP/IP ポート

参照

・P.9 「ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする」

プリントサーバーを使用する

本機は、Windows ネットワークプリンターとして使用できます。
本機を、Windows ネットワークプリンターとして使用するときのインストール方法については、「Windows ネットワークプリンターを使う」を参照してください。



参照

・P.15 「Windows ネットワークプリンターを使う」

ローカル接続

ローカル接続は、USB ケーブルを使用します。
本機を USB 接続で使用するときのドライバーのインストール方法については、「USB 接続でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

参照

・P.16 「USB 接続でプリンタードライバーを インストールする」

ネットワーク環境にプリンタードライバーをインストールする

ネットワーク環境で本機を使用するときの、プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

重要

- プリンタードライバーをインストールする前に、必ずテストページを印刷して本機のMAC アドレスと IP アドレスを確認する必要があります。詳しくは「テストページを印刷する」を参照してください。

参照

- P.9 「テストページを印刷する」

プリンタードライバーのインストール

以下の手順にそってプリンタードライバーのインストールを行います。

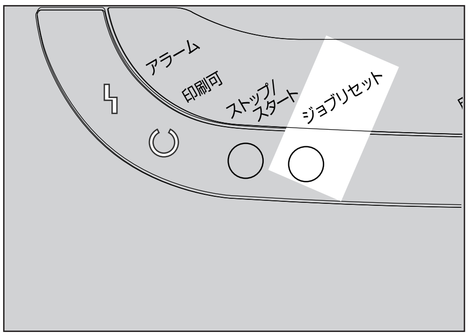
1) テストページの印刷
2) Smart Organizing Monitor のインストール
3) プリンターの IP アドレスの設定
4) プリンタードライバーのインストール

テストページを印刷する

プリンタードライバーをインストールするには、最初にプリンターの MAC アドレスと IP アドレスが必要になります。

本機の MAC アドレスと IP アドレスはテストページで確認できます。

テストページは、[ジョブリセット] キーを押しながらプリンターの電源を入れ、アラームランプ が点滅するまでキーを押しつづけると印刷できます。



補足

- 電源を入れた後、約 20 秒でアラームランプが点滅します。点滅してから約 1 分後にテストページが印刷されます。

Smart Organizing Monitor をインストールする

本機の IP アドレスの設定には、Smart Organizing Monitor を使用します。
Smart Organizing Monitor は、次の手順でインストールします。

1

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
   インストーラーが起動します。



3. [Smart Organizing Monitor] をクリックします。
4. インストールで使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。
   Smart Organizing Monitor セットアップ画面が表示されます。
5. [次へ] をクリックします。
6. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は [はい] をクリックします。
   保存先フォルダの選択画面が表示されます。
7. 保存先を指定し、[次へ] をクリックします。
   プログラムフォルダの選択画面が表示されます。
8. プログラムフォルダを指定し、[次へ] をクリックします。
   インストールを開始します。終了すると、完了画面が表示されます
9. [完了] をクリックします。

補足

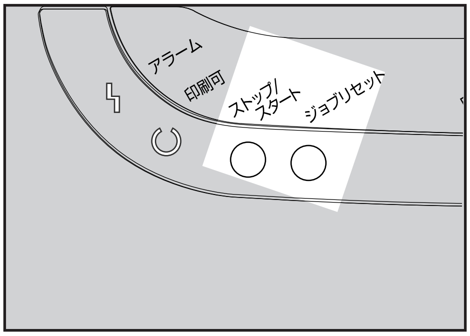
- Windows Vista では、CD-ROM をセットしたときに、セキュリティー設定のため、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されることがあります。この場合、[許可] をクリックします。

プリンターの IP アドレスを手動で設定する

テストページで確認した本機の MAC アドレスを使用して、Smart Organizing Monitor を使用して本機の IP アドレスを設定します。
IP アドレスの設定を行うときは、セットアップを行うパソコンとプリンターは同一セグメント内に設置して設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問合せください。

重要

- 設定を行う前に、本機を工場出荷時の状態に戻す必要があります。工場出荷時の状態に戻すには、［ストップ / スタート］キーと［ジョブリセット］キーを押しながら本機の電源を入れ、アラートランプが点灯するまでキーを押しつづけます。



ASH502D

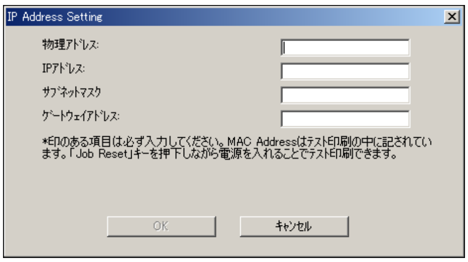
1 本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続します。

2 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］で［Smart Organizing Monitor for DDST］＞［Smart Organizing Monitor for DDST Status］を選択します。

Smart Organizing Monitor が起動します。
Windows Vista の場合は、管理者で起動してください。

3 ［初期設定］タブをクリックし、［IP アドレスの入力］をクリックします。

IP アドレス入力ダイアログが表示されます。



4 ［物理アドレス］に本機の MAC アドレス（物理アドレス）を入力し、［IP アドレス］に適切な IP アドレスを入力します。

サブネットマスクとゲートウェイアドレスは、必要に応じて入力してください。

5 ［OK］をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

7 [閉じる]をクリックし、Smart Organizing Monitor を終了します。

8 本機の電源を切り、テストページを再度印刷して、設定した IP アドレスが印刷されるか確認します。

補足

- Smart Organizing Monitor について詳しくは、「Smart Organizing Monitor を使う」を参照してください。
- テストページの印刷について詳しくは、「テストページを印刷する」を参照してください。

参照

- P.52 「Smart Organizing Monitor を使う」

プリンタードライバーをインストールする

重要

- この操作を行うには、Windows のログオン時に管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーでログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。



3 [DDST プリンタードライバー]をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は[同意します]をクリックし、[次へ]をクリックします。

[セットアップ方法]ダイアログが表示されます。

5 [新しいプリンターを追加する] をクリックし、[ネットワークからプリンターを検索する] にチェックマークを付けて、[次へ] をクリックします。

プリンターの検索を開始します。
プリンターの検索に失敗した場合、プリンタードライバーは LPT1 ポート経由でインストールされます。
この場合、再設定をする前にポートと IP アドレスの設定を確認してください。

6 検索されたプリンター一覧から、事前に IP アドレスを設定したプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。

[プリンタードライバーの導入] ダイアログが表示されます。

7 必要に応じて、[プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開して設定します。

8 [完了] をクリックします。

補足

- 手順 5 でネットワークプリンターの検索に失敗した場合は、「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」を参照してください。
- [完了] をクリックすると、[デジタル署名がみつかりませんでした] という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で [キャンセル] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
- ネットワーク接続について詳しくは、『ハードウェアガイド』を参照してください。
- Standard TCP/IP Port 以外のポートにドライバーをインストールした場合、インストール終了後、ポートの設定を変更できます。ポートの設定の変更について詳しくは、「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」を参照してください。

参照

- P.19 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」
- P.9 「テストページを印刷する」
- P.14 「ネットワークプリンターの検索に失敗した場合」

ネットワークプリンターの検索に失敗した場合

プリンタードライバーのインストール中に、ネットワークプリンターの検索に失敗した場合の設定方法を説明します。
再設定する前に、テストページを印刷してプリンターの IP アドレスを取得し、必要な設定を行います。

♦ プリンターの IP アドレスを再設定する

IP アドレスの再設定方法については、「プリンターの IP アドレスを設定する」を参照してください。

♦ ポートの設定を変更する

1 ［スタート］メニューから［プリンタ］ウィンドウを表示します。

2 本機のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

4 ［Standard TCP/IP Port］をクリックし、［新しいポート］をクリックします。



標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

6 テストページで確認した本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

本機の IP アドレスを変更した場合は、新たに設定した本機の IP アドレスを入力してください。

7 ［完了］をクリックします。

Windows ネットワークプリンターを使う

Windows ネットワークプリンターとして、本機を使用する場合のプリンタードライバーのインストール方法を説明します。
ここでは、Windows XP での使用方法を例に説明します。
Windows ネットワークプリンターの設定方法の詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

重要

- 下記の設定を行うには、事前に本機をネットワークプリンターに設定しておく必要があります。ネットワークプリンターの設定方法については、「プリントサーバーを使用する」を参照してください。

参照

- P.65 「プリントサーバーを使用する」

1. **[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]をクリックします。**
2. **[プリンタのインストール]をクリックします。**
   [プリンタの追加ウィザード]が表示されます。
3. **[次へ]をクリックします。**
4. **[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ]をクリックし、[次へ]をクリックします。**
5. **[指定したプリンタに接続する]を選択し、[次へ]をクリックします。**
6. **共有プリンタの一覧から本機を選択し、[次へ]をクリックします。**
7. **本機を通常使用するプリンターに設定するかどうか選択し、[次へ]をクリックします。**
8. **[完了]をクリックします。**

USB 接続でプリンタードライバーをインストールする

ここでは、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、ドライバーをインストールする方法を説明しています。
セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

重要

- この操作を行うには Windows へのログオン時に、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーでログオンしてください。

補足

- ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、「USB」ポートに接続したプリンターのアイコンが［プリンタ］ウィンドウに追加されます。
- USB ケーブルをはじめて使用した場合、お使いの OS によって［新しいハードウェアの検出］や［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。この場合は［キャンセル］をクリックします。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機の電源が切れていることを確認します。

3 本機に付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。



4 ［DDST プリンタードライバー］をクリックします。

ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。

5 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目を読み、同意する場合は、［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

6 ［セットアップ方法］ダイアログで、［新しいプリンターを追加する］を選択し、［USB を使用してプリンターを接続する］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

7 使用するプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

本機の電源が切れていること、USB ケーブルが接続されていないことを確認するメッセージが表示されます。

8 本機の電源が切れいていること、USB ケーブルが機器と接続されていないことを確認し、［次へ］をクリックします。

9 ［接続先（USB ポート）の自動認識］ダイアログが表示されたら、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

10 インストール完了のメッセージが表示されたら、［完了］をクリックします。

11 「再起動の確認」ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、［完了］をクリックします。

補足

- Windows Vista では、CD-ROM をセットしたときに、セキュリティー設定のため、［ユーザー アカウント制御］ダイアログが表示されることがあります。この場合、［許可］をクリックします。
- オートランを使用せずにインストールを行う場合、キーボードの左側の［Shift］キーを押しながら、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の［Shift］キーを押し続けてください。
- インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷するポート］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- プリンターの接続に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。USB ケーブルが正しく接続され、本機の電源が入っていることを確認して［再試行］をクリックします。
- USB 自動認識の使用を中止する場合は、［自動認識中止］をクリックします。

1

USB 接続がうまくいかないとき

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	本機の電源を OFF にして、ケーブルを再接続し、接続した後、電源を ON にしてください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の［!］がついたり、黄色の［?］がついたりしています。必要なデバイスを削除しないようにご注意ください。デバイスマネージャへのアクセス方法、デバイスの削除について詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。 Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をお使いの場合、不正なデバイスは［デバイスマネージャ］の［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。



上記のような（58）のメッセージ、または（34）のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンタの追加] または [プリンタのインストール] でインストールし直してください

Windows 2000 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
3. [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
3. [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。

Windows XP Home Edition の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
2. [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
3. [プリンタと FAX] をクリックします。
4. [プリンタのインストール] をクリックします。
5. [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。

Windows Vista の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ハードウェアとサウンド] カテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
3. [プリンタのインストール] をクリックします。
4. [プリンタの追加ウィザード] に従ってインストールします。

双方向通信について

ここでは、双方向通信について説明します。

双方向通信が可能な条件

双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からも本機の状態を確認できます。
双方向通信はWindows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2のOSに対応しています。

双方向通信が可能な条件は以下のとおりです。

♦ ネットワーク接続の場合

標準 TCP/IP ポートのポート名の初期値を変更していない。
プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、「双方向サポートを有効にする」にチェックマークを付けている。

♦ ローカル接続の場合

本機の USB インターフェースコネクターとパソコンの USB コネクターが、USB ケーブルで接続されている。
パソコンが双方向通信で対応している。
プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブで、「双方向サポートを有効にする」にチェックマークを付けている。

補足

- プリンターの状態の更新は、手動でも行えます。

双方向通信ができない場合

双方向通信が働いていない場合、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わらないため、手動でプリンタードライバーに設定します。

1

重要

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合、［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブにある［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外さないでください。［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外すと、本機での印刷ができなくなります。

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**
   ［プリンタ］ウィンドウが表示されます。
2. **設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させせます。**
3. **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
4. **［用紙サイズ］タブをクリックします。**
5. **［給紙トレイ］から印刷する給紙トレイを選択して反転表示させ、原稿サイズを指定して［更新］をクリックします。**
6. **［OK］をクリックしてプリンターのプロパティを閉じます。**

2. プリンタードライバー画面と設定方法

この章ではプリンタードライバー画面の説明と、設定方法について説明します。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

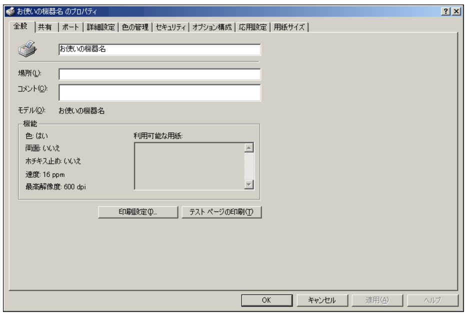
Windows 2000 で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。



［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定を行います。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

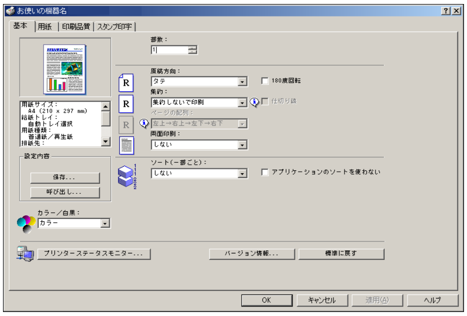
Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する

[プリンタ] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。



[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。**

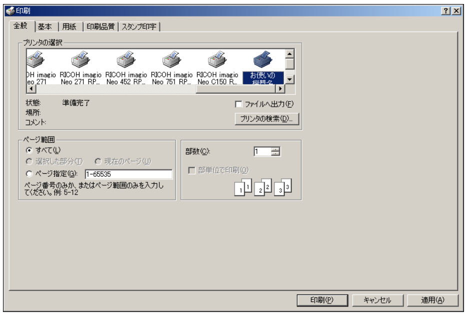
印刷設定が表示されます。

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows 2000 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字］タブが表示されます。



[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字］タブには［プリンタ］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

[印刷］ダイアログが表示されます。
印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 プリンターを選択し、右クリックして［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

Windows XP、Windows Server 2003で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

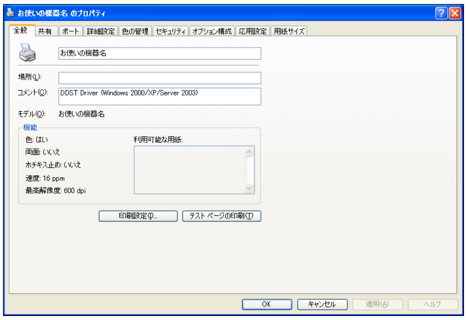
Windows XP、Windows Server 2003 で［プリンタと FAX］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタと FAX］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタと FAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。



［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows XP、Windows Server 2003 が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003 の機能に関する設定を行います。

［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

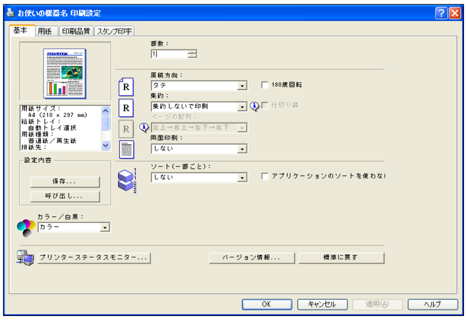
Windows XP、Windows Server 2003 で［プリンタと FAX］ウィンドウから印刷設定を表示する

［プリンタと FAX］ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタと FAX］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1. **タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。**

2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［印刷設定］をクリックします。**

   印刷設定が表示されます。

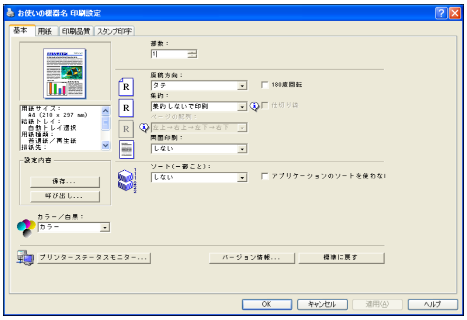
補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2

Windows XP、Windows Server 2003 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows XP、Windows Server 2003 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。



これらのタブには［プリンタと FAX］ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

2 **プリンターを選択し、［詳細設定］をクリックします。**

［印刷設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista の場合

Windows Vista で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

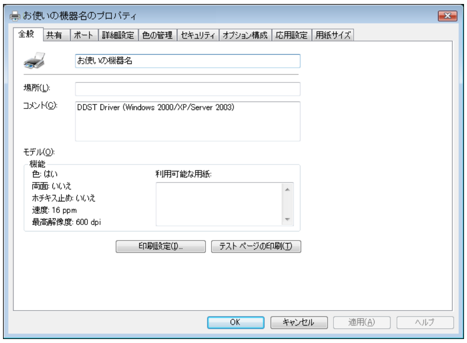
Windows Vista で［プリンタ］ウィンドウからプロパティを表示する

［プリンタ］ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、管理者権限を持つアカウントでログオンするか、一時的に管理者として実行してください。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブが表示されます。



［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブは Windows Vista が追加するタブで、Windows Vista の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［応用設定］、［用紙サイズ］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**
2. **［ハードウェアとサウンド］カテゴリの中から、［プリンタ］をクリックします。**
3. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［プロパティ］をクリックします。**
   プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista で［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示する

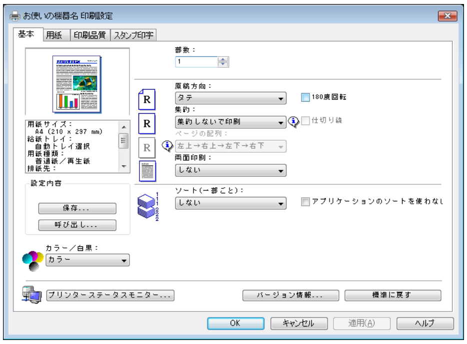
［プリンタ］ウィンドウのドキュメントの既定値から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

2

重要

- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［用紙］、［印刷品質］、［スタンプ印字］タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［ハードウェアとサウンド］カテゴリの中から、［プリンタ］をクリックします。

3 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、右クリックして表示されるメニューで［印刷設定］をクリックします。

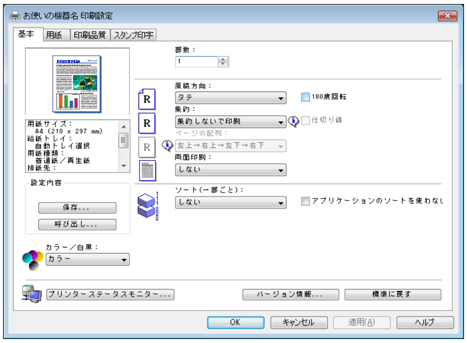
印刷設定が表示されます。

補足

- ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows Vista でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows Vista で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。
アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[用紙]、[印刷品質]、[スタンプ印字] タブが表示されます。



[プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows Vista に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、標準ユーザーでも変更できます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. いろいろな印刷

強制印刷や印刷の中止、ソートなどの注意事項について説明します。

強制印刷について

用紙のサイズ違いなどのエラーが発生したときの操作について説明します。
操作部のキー、または Smart Organizing Monitor を使用して強制印刷してください。

重要

- 表紙が設定されている場合は、トレイの変更はできません。
- セットされている用紙サイズが、プリンタードライバーで選択されている用紙サイズより大きい場合は、強制印刷できません。強制印刷すると、紙づまりが発生します。

強制印刷する

以下の手順で強制印刷を行います。

操作部での印刷

1 **Smart Organizing Monitorにエラーメッセージが表示されたら、[ストップ/スタート] キーを押します。**

選択したトレイから印刷が実行されます。

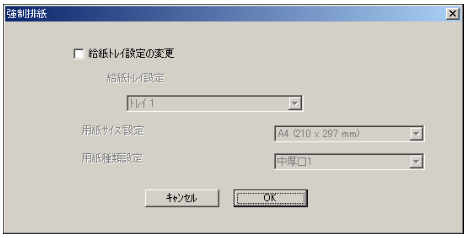
補足

- 用紙を追加して印刷したい場合は、トレイに使用する用紙をセットし、[ストップ/スタート] キーを押してください。
- 用紙サイズが小さいトレイを選択した場合、印刷物の端が切れるなどの問題が起きる場合があります。

Smart Organizing Monitor での印刷

1 **Smart Organizing Monitor にエラーメッセージが表示されたら、[継続] をクリックします。**

[強制排紙] ダイアログが表示されます。



2 **使用しているトレイの設定を変更する場合は、[給紙トレイ設定の変更] にチェックマークを付け、[給紙トレイ設定] から使用するトレイを選択します。**

3 **必要に応じて用紙サイズと用紙タイプを設定し、[OK] をクリックします。**

選択したトレイから印刷が開始されます。

強制印刷しない場合は、[キャンセル] をクリックします。

補足

- エラーメッセージが給紙トレイに関連したものでない場合は、[給紙トレイ設定の変更] は使用できません。
- エラー発生時に自動的に Smart Organizing Monitor を表示させる場合は、プリンタードライバーのプロパティ画面の [応用設定] タブで、[自動で Smart Organizing Monitor を表示する] にチェックマークを付けてください。

印刷を中止するとき

強制印刷をせずに、印刷を中止する方法です。

操作部を使用する

1 ［ジョブリセット］キーを押します。

Smart Organizing Monitor を使用する

1 Smart Organizing Monitor ダイアログに警告メッセージが表示されたら、［キャンセル］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

2 ［はい］をクリックします。

補足

- 印刷エラーが発生したときに自動でSmart Organizing Monitor ダイアログを表示させるには、プリンタードライバーのプロパティ画面で［応用設定］タブを選択し、［自動で Smart Organizing Monitor を表示する］にチェックマークを付けます。

印刷を中止する

印刷を中止したいデータが、まだ印刷されていない場合の操作方法です。

操作部を使って印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、操作部から印刷を中止できます。

1. ［ジョブリセット］キーを押します。

パソコンから印刷を中止する

印刷が完了していないデータは、パソコンから印刷を中止できます。

1. Windows のタスクトレイにあるプリンターのアイコンをダブルクリックします。

   待機中の印刷ジョブ一覧画面が表示されます。印刷を中止するジョブを確認します。

2. 印刷を中止するジョブをクリックして反転表示させます。

3. ［ドキュメント］メニューの ［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

   印刷が中止されます。

   補足

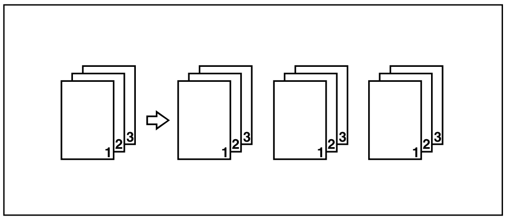
   - Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 では、［キャンセル］をクリックします。
   - Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
   - 印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

ソートについて

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。

♦ ソート

下の図のように一部ずつそろえて印刷します。



補足

- ソートの機能と合わせて両面機能を使用する場合は、一部の印刷が完了するたびに用紙をセットし直す必要があります。
- 一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。
- 一部目で強制排紙が発生した場合は、ソートは解除されます。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

表紙について

表紙用の用紙印刷について説明します。

補足

- 表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプ印字について

スタンプ印字について説明します。

補足

- 印字のサイズが用紙サイズよりも大きい場合、正しくスタンプが印刷されません。
- 設定方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

手動両面について

手動両面機能での両面印刷について説明します。

重要

・本機能を使用する場合は、トレイ 1 に用紙をセットしてください。

補足

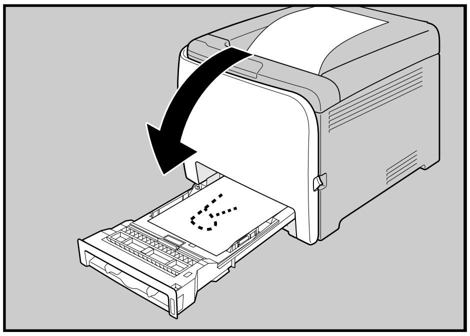
・奇数ページの文書を印刷したとき、はじめに白紙が印刷されます。印刷された白紙は裏面印刷時の最終ページとなりますので、裏面を印刷するときは必ずその白紙もトレイにセットしてください。

3

表面の印刷が完了すると、Smart Organizing Monitor に用紙を再セットするようにメッセージが表示されます。



用紙を、印刷された面を下にし、天地の向きを給紙方向に合わせてトレイ 1 にセットし、[スタート / ストップ] キーを押して印刷を実行します。



ASH509S

メモリー容量と用紙サイズ

本機に搭載されているメモリー容量による、印刷可能な解像度と用紙サイズについて説明します。

◆ メモリー容量

64 MB

◆ 解像度

600 dpi 速度優先（1bit）
600 dpi 標準（2bits）
600 dpi 画質優先（4bits）

◆ 用紙サイズ

Letter（8 $^{1}/_{2}$ × 11）、A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、B6（128 × 182 mm）、A5（148 × 210 mm）、A6（105 × 148 mm）、Legal（8 $^{1}/_{2}$ × 14）、Executive（7 $^{1}/_{4}$ × 10 $^{1}/_{2}$）、5 $^{1}/_{2}$ × 8 $^{1}/_{2}$、Com10 封筒（4 $^{1}/_{8}$ × 9 $^{1}/_{2}$）、Monarch 封筒（3 $^{7}/_{8}$ × 7 $^{1}/_{2}$）、DL 封筒（110 × 220 mm）、C6 封筒（114 × 162 mm）、C5 封筒（162 × 229 mm）、8 × 13、郵便ハガキ、往復ハガキ、8 $^{1}/_{2}$ × 13、8 $^{1}/_{4}$ × 13、16K（195 × 267 mm）、不定形サイズ

補足

- 手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。
- 不定形サイズを選択すると、ヨコ 9.00cm から 21.60cm、タテ 14.80cm から 35.60cm の範囲でサイズが設定できます。
- A3、11 × 17、B4、8K などの定型サイズより大きなサイズの原稿を印刷する場合は、プリンターのプロパティ画面の［応用設定］タブで［大きなサイズの用紙を使用する］にチェックマークを付けると、定型サイズ以上の原稿サイズが選択できます。その場合、［用紙サイズ］タブの［指定した用紙サイズで印刷する］で選択した用紙サイズに縮小されて印刷されます。
- 用紙サイズについて詳しくは、『ハードウェアガイド』の「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。

4. 機器の監視

Web Image Monitor と Smart Organizing Monitor を使用して、本機の状態確認や設定をする方法について説明します。

Web Image Monitor を使う

Web Image Monitor を使用して、プリンターの状態を確認したり、本機の設定を変更できます。

4

♦ Web Image Monitor でできること

Web Image Monitor を使用すると、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザ上で、離れた場所にある機器の状態の確認や設定の変更ができます。
以下のようなことが可能です。

- 機器の状態と消耗品の情報の表示
- カウンター情報の表示
- 給紙トレイにセットする用紙の設定
- 給紙トレイの設定
- システム設定リストの印刷
- ネットワークプロトコル設定

♦ 本機の環境設定

Web Image Monitor の機能は、TCP/IP プロトコルで使用できます。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。
TCP/IP の設定が正しく行われていると、使用できます。

♦ 推奨ブラウザ

- Windows 環境：
  Internet Explorer 5.5 SP2 以降
  FireFox 1.0 以降
- Mac OS X 環境
  FireFox 1.0 以降
  Safari 1.0、1.2、2.0 以降

補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨するバージョンより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、メインエリアの［最新の情報に更新］をクリックしてください。

トップページを表示する

Web Image Monitor のトップページの表示方法を説明します。

トップページの表示方法

1 Web ブラウザを起動します。

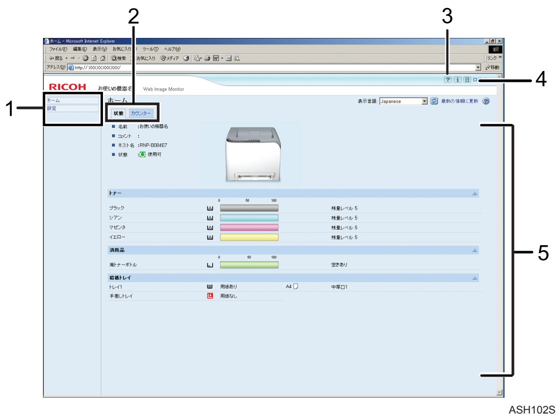
2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。
DNS サーバーを使用し、本機のホスト名が登録されている場合、ホスト名を入力できます。

4

トップページ

Web Image Monitor のページはフレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



1 メニューエリア

［設定］を選択すると、設定ページの内容が表示されます。

2 タブエリア

［状態］タブと［カウンター］タブの 2 つのタブがあります。それぞれのタブをクリックすると、プリンターの状態とカウンター情報が表示されます。

3 ヘルプ

ヘルプファイルを閲覧します。

4 ログイン

管理者モードでログインできます。

5 メインエリア

メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。
メインエリアの情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の［最新の情報に更新］をクリックしてください。なお、Web ブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの ［最新の情報に更新］をクリックしてください。

補足

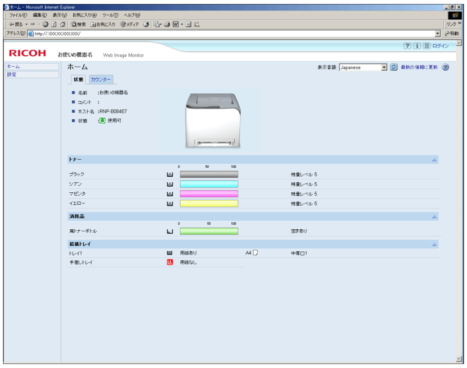
- 設定ページに表示される内容は、ログインモードにより異なります。

機器の状態を表示する

Web Image Monitor のトップページでは［状態］タブと［カウンター］タブが選択できます。

♦［状態］タブ

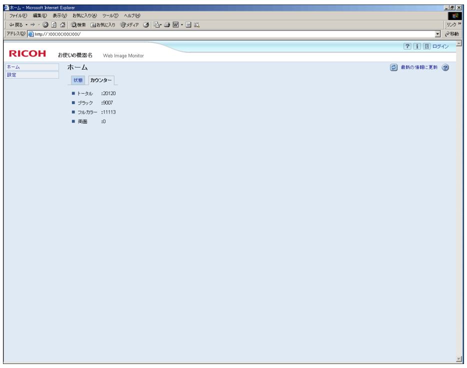
監視する機器の状態を確認できます。



- プリンターのモデル名、場所や状態などの基本情報を表示します。
- トナー
  トナー残量の状態を表示します。
- 消耗品
  消耗品の状態を表示します。
- 給紙トレイ
  給紙トレイの状態や用紙設定の詳細を表示します。

♦［カウンター］タブ

それまでに印刷された総ページ数を確認できます。
表示されるカウンター情報は以下のとおりです。



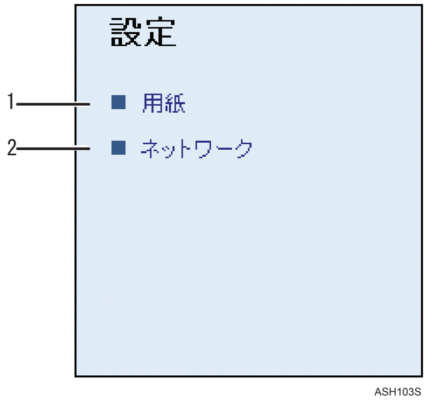
- トータル
- ブラック
- フルカラー
- 両面

メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ユーザーモードと管理者モードでログインすることができます。
［設定］ページに表示される項目は、ログインの方法により異なります。

◆ **ユーザーモード**

ユーザーモードでは、設定内容の確認はできますが、設定は変更できません。



1 用紙

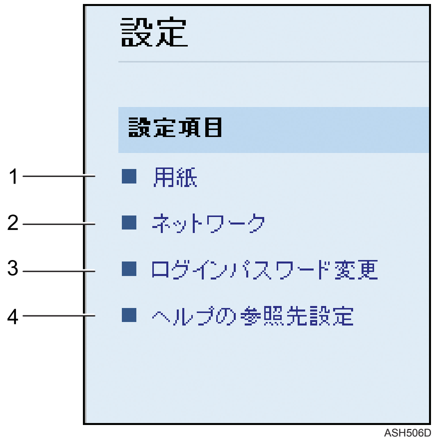
クリックして［用紙］ページを表示します。

2 ネットワーク

クリックして［ネットワーク］ページを表示します。

◆ **管理者モード**

管理者モードでは、用紙トレイとネットワークの設定ができます。



1 用紙

クリックして［用紙］ページを表示します。

2 ネットワーク

クリックして［ネットワーク］ページを表示します。

3 ログインパスワード変更

クリックしてログインパスワードを変更します。

4 ヘルプの参照先設定

クリックしてヘルプのソースファイルを指定します。

管理者モードでアクセスする

管理者モードでのアクセス方法を説明します。

補足

- 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスすると、[ログイン] の下に、「管理者」と表示されます。

ログインする

1 トップページで、[ログイン] をクリックします。

ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

補足

- ログインユーザー名とパスワードについては、管理者にお問い合わせください。

ログアウトする

[ログアウト] をクリックします。

補足

- ログインして設定を行ったら、必ず [ログアウト] をクリックして終了してください。

プリンターの設定をする

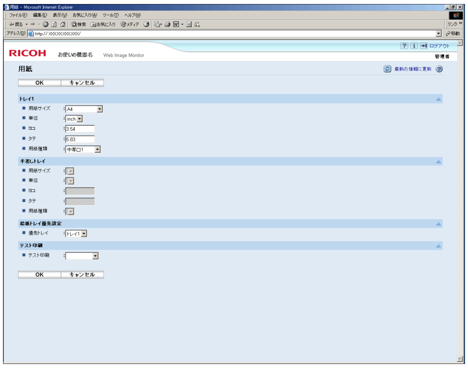
［設定］ページには、2 つの設定メニューがあります。

重要

- プリンターの設定を行うには、Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする必要があります。ユーザーモードでは、設定の確認はできますが、変更はできません。

♦ 用紙

［用紙］ページを表示します。

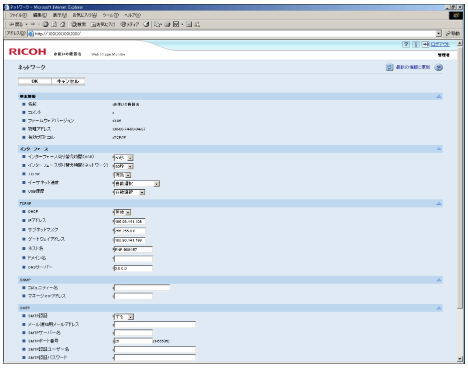


［用紙］ページでは以下の操作ができます。

- 給紙トレイの用紙のサイズと種類の設定
- テスト印刷

♦ ネットワーク

［ネットワーク］ページを表示します。



［ネットワーク］ページでは以下の操作ができます。

- プリンターの情報の確認
- インターフェースの設定
- プロトコルの設定
- 工場出荷時の設定にリセット

用紙の設定を変更する

［用紙］ページでは、用紙サイズなどの用紙に関する設定ができます。

- トレイ 1 サイズ
  Tray1 にセットする用紙サイズの設定ができます。
  以下のサイズに設定できます。
  A4、B5、A5、B6、A6、8 $^{1}/_{2}$ × 14、8 $^{1}/_{2}$ × 11、5 $^{1}/_{2}$ × 8 $^{1}/_{2}$、7 $^{1}/_{4}$ × 10 $^{1}/_{2}$、8 × 13、8 $^{1}/_{2}$ × 13、8 $^{1}/_{4}$ × 13、4 $^{1}/_{8}$ × 9 $^{1}/_{2}$、3 $^{7}/_{8}$ × 7 $^{1}/_{2}$、C5 Env、C6 Env、DL Env、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形
- トレイ 1 種類
  Tray1 にセットする用紙種類が設定できます。
  以下の用紙種類に設定できます。
  普通紙、中厚口 1、中厚口 2、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、厚紙 1、封筒

テスト印刷をする

［用紙］ページでは、テスト印刷ができます。

重要

- テスト印刷を行うためには、Web Image Monitor で本機が監視対象に設定されている必要があります。

［テスト印刷］で［テストページ］を選択します。

テストページには、プリンターの IP アドレス、サブネットマスクならびにゲートウェイアドレスが印刷されます。

ネットワーク関連の設定をする

ネットワーク関連の設定を行います。

重要

- TCP/IP に関する設定を行う場合は、インターフェースで TCP/IP を有効にする必要があります。

［ネットワーク］ページでは以下の設定ができます。

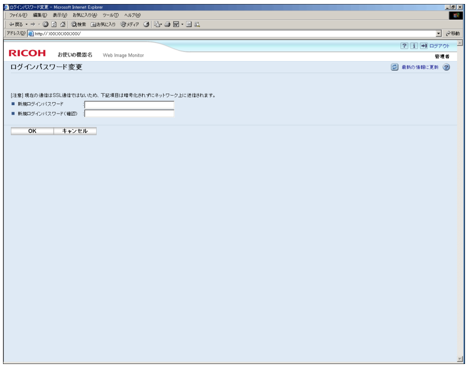
- 機器の名称や有効プロトコルなどのプリンター情報の確認
- インターフェース切り替え時間や有効プロトコルなどのインターフェースの設定
- TCP/IP ポートの設定
- SMTP の設定
- SNMP の設定

ログイン情報を変更する

［ログインパスワード変更］ページで、管理者のログインパスワードが変更できます。

1 **［設定］ページで、［ログインパスワード変更］をクリックします。**

［ログインパスワード変更］ページが表示されます。



2 **新しいパスワードを［新規ログインパスワード］に入力し、入力したパスワードと同じパスワードを［新規ログインパスワード（確認）］に入力します。**

3 **［OK］をクリックします。**

4

Web Image Monitor のヘルプを表示する

Web Image Monitor のヘルプをはじめて使用する場合、本機に付属の CD-ROM からソースファイルをインストールする必要があります。

補足

- ヘッダーエリアに表示された［ヘルプ］をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示された ? マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

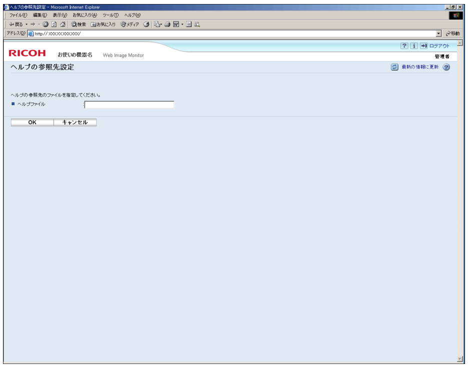
ヘルプのインストール

1 CD-ROM の WIMHELP フォルダをハードディスクの任意の場所にコピーします。

ここでは、C:¥tmp¥WIMHELP にコピーする例で説明します。

2 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、［設定］ページで、［ヘルプの参照先設定］をクリックします。

［ヘルプの参照先設定］ページが表示されます。



3 テキスト入力部分に、以下のようにパスを入力します。

C:¥tmp¥WIMHELP¥JA

4 ［OK］をクリックします。

Smart Organizing Monitor を使う

Smart Organizing Monitor を使用すると、パソコンから給紙トレイやネットワーク関連の設定ができます。
また、本機の状態も Smart Organizing Monitor を使用して確認できます。
Smart Organizing Monitor でできることは以下のとおりです。

- プリンターの状態と設定内容の表示
- エラーの発生場所とエラー解除方法の表示
- 強制印刷
- 消耗品の情報の表示
- 設定確認リストの印刷
- プリンターの IP アドレスの再設定
- 給紙トレイにセットする用紙の設定
- 給紙トレイの設定
- 工場出荷時の設定の変更
- システム、アクセスコード、言語の設定
- ネットワークプロトコルの設定

補足

- Smart Organizing Monitor の機能は、Mac OS X の環境でも使用できます。詳細は、「Smart Organizing Monitor を使う」を参照してください。
- プリンターの IP アドレスの設定方法は、「プリンターの IP アドレスを設定する」を参照してください。

参照

- P.76 「Smart Organizing Monitor を使う」
- P.11 「プリンターの IP アドレスを手動で設定する」

Smart Organizing Monitor のインストール

重要

- Smart Organizing Monitor をインストールする場合、Administrator または Power Users グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。

Smart Organizing Monitor は、プリンターのインストール時に自動的にインストールされます。

また、本機に付属の CD-ROM をセットして表示される［ドライバー&ユーティリティ］ダイアログで［Smart Organizing Monitor］をクリックし、単体でインストールすることもできます。



Smart Organizing Monitor ダイアログを表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログの表示方法は、インストール方法により異なります。

♦［ドライバー&ユーティリティ］ダイアログで［Smart Organizing Monitor］をクリックしてインストールした場合

［スタート］ボタンから、［プログラム］または［すべてのプログラム］をポイントし、［Smart Organizing Monitor for DDST］>［Smart Organizing Monitor for DDST Status］をクリックします。

♦ プリンタードライバーと同時にインストールした場合

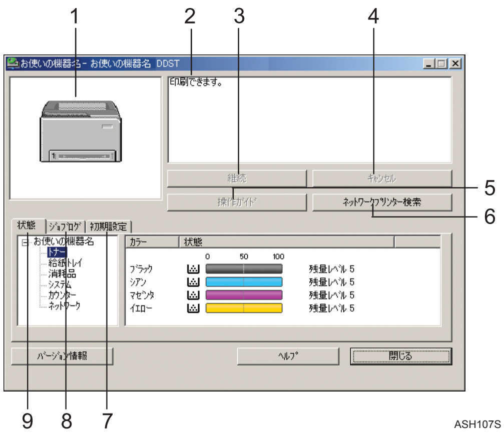
印刷設定画面で、［プリンターステータスモニター］をクリックするか、プリンターのプロパティ画面の［オプション構成］、［応用設定］または［用紙サイズ］タブで、［プリンターステータスモニター］をクリックします。

補足

- エラー発生時に Smart Organizing Monitor 画面を自動的に表示させるには、プリンターのプロパティ画面の［応用設定］タブで、［自動で Smart Organizing Monitor を表示する］にチェックマークを付けてください。

プリンターの状態を表示する

Smart Organizing Monitor 画面では、監視対象になっているプリンターの状態を確認できます。
プリンターの状態は、画像とコメントで表示されます。



1 プリンターの画像
給紙トレイのエラーが発生すると、 アイコンで、エラーの発生箇所を示します。また、エラーの発生しているトレイは赤の縁取りで表示されます。

2 コメント
プリンターの現在の状態を表示します。また、エラー発生時にはエラーの解決方法を表示します。

3 [継続]
[強制排紙] 画面を表示して給紙トレイの設定を変更します。
[継続] をクリックして強制印刷する方法については、「強制印刷について」を参照してください。

4 [キャンセル] ボタン
エラー発生時、強制印刷せず、印刷ジョブをキャンセルするときにクリックします。

5 [操作ガイド] ボタン
発生したエラーに関するヘルプトピックを表示します。

6 [ネットワークプリンター検索]
クリックしてネットワークプリンターを選択します。

7 [初期設定] タブ
テストページと設定確認ページ印刷ができます。また [プリンター設定] ダイアログの表示ができます。

8 [ジョブログ] タブ
印刷ジョブに関する情報を表示します。

9 [状態] タブ
トナーレベルや、用紙の残量レベルを表示します。

補足

- Smart Organizing Monitor が複数のプリンターを監視している場合、[プリンタードライバーの選択] 画面が表示されます。監視するプリンターで使用しているドライバーを選択し [OK] をクリックします。ネットワークプリンターの状態を確認する場合は、[ネットワークプリンター検索] をクリックします。

参照

- P.33 「強制印刷について」

プリンター情報を表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログには、[状態]、[ジョブログ]、[初期設定] の 3 つのタブがあります。これらのタブでは、監視するプリンターの状態、ジョブ履歴、設定内容などの情報を表示できます。

プリンター状態の表示

[状態] タブをクリックすると、機器名とその下にツリーが表示されます。ツリー上のアイテムをクリックして詳細を確認できます。



♦ **トナー**

各トナーの残量状態が、数字でのレベル表示 (残量レベル 1~5)、" 残りわずか "、または " なし " で表示されます。

トナーの状態は、アイコンでも表示されます。

♦ **給紙トレイ**

給紙トレイに関する以下の情報を確認できます。

- 給紙トレイ

  給紙トレイを表示します。

- 状態

  給紙トレイの状態が、" 用紙あり " または " 用紙なし " で表示されます。

- 用紙サイズ

  給紙トレイにセットされた用紙サイズが表示されます。

- 用紙の種類

  給紙トレイにセットされた用紙の種類が表示されます。

◆ **消耗品**

消耗品の名称が表示され、残量状態がアイコンで表示されます。

◆ **システム**

モデル名やバージョン、メモリー容量などのシステム情報が表示されます。

◆ **カウンター**

カウンター情報を表示します。

◆ **ネットワーク**

プリンターのコメント、IP アドレスなどのネットワークに関連したプリンターの情報が表示されます。

補足

- Smart Organizing Monitor ダイアログ内の項目について詳しくは、Smart Organizing Monitor のヘルプを参照してください。
- ［状態］タブに表示される情報は印刷して確認できます。詳しくは、「プリンターの設定内容を印刷する」を参照してください。

4

参照

- P.57 「プリンターの設定内容を印刷する」

ジョブ履歴を表示する

［ジョブログ］タブをクリックすると印刷ジョブの情報が一覧で表示されます。



表示される内容は以下のとおりです。

- ユーザー名
- ドキュメント名
- 受付日時
- 印刷ページ数
- ジョブの状態

補足

- 通常は、［ユーザー名］には Windows へのログオン名が表示されます。

プリンターの設定内容を印刷する

［初期設定］タブでは、プリンター情報の一覧を印刷できます。



重要

- プリンターが印刷ジョブを行っている間は設定ページの印刷はできません。
- この機能を使用するためには、以下の条件が必要です。
  - 対象となるプリンターが Smart Organizing Monitor で監視されている。
  - 使用しているプリンタードライバーが Smart Organizing Monitor に対応している。

［テスト印刷］一覧から印刷したいリストを選択してください。以下のものが印刷できます。

◆ システム設定リスト

プリンターの設定内容や基本情報が印刷できます。

システム設定リストで確認できる内容について詳しくは、「システム設定リストの見かた」を参照してください。

◆ テストページ

テストページを印刷して機器の状態を確認できます。

システム設定リストの印刷を例に印刷方法を説明します。

1 **［初期設定］タブの［テスト印刷］一覧から［システム設定リスト］を選択します。**

2 **［印刷］をクリックします。**

3 **［はい］をクリックします。**

システム設定リストが印刷されます。

参照

- P.64 「システム設定リストの見かた」

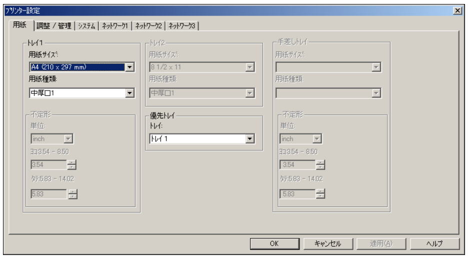
プリンター設定ダイアログについて

［プリンター設定］ダイアログではプリンターの設定内容が変更できます。［プリンター設定］ダイアログでプリンターの設定を変更するには［初期設定］タブで、［プリンター設定］をクリックします。

重要

- プリンターが準備中や省エネモードのとき、［プリンター設定］ダイアログ内の機能は使用できません。

［プリンター設定］ダイアログでは、以下の設定内容が変更できます。



- 機器本体
- 給紙トレイ
- 給紙トレイの用紙設定
- ネットワークプロトコル
- 工場出荷時の初期設定

補足

- ［プリンター設定］ダイアログで設定できる項目について詳しくは、Smart Organizing Monitorのヘルプを参照してください。

メニューとモードについて

［プリンター設定］ダイアログには、管理者モードかゲストモードでアクセスできます。ログインするモードによって、［プリンター設定］ダイアログに表示されるメニューは異なります。

◆ 管理者モード

［アクセスコード］ダイアログでアクセスコードを入力します。

管理者モードでは［プリンター設定］ダイアログのすべてのタブが使用できます。

補足

- アクセスモードについては、管理者にお問い合わせください。

◆ ゲストモード

ゲストモードでは［用紙］タブの設定のみ変更できます。

用紙設定を変更する

［用紙］タブでトレイ 1 の用紙サイズなど用紙に関する設定が変更できます。

- 用紙サイズ
  設定可能な用紙サイズは次のとおりです。
  A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、A5（148 x 210 mm）、B6（128 x 182 mm）、A6（105 x 148 mm）、8 $^{1}/_{2}$ × 14、8 $^{1}/_{2}$ × 11、5 $^{1}/_{2}$ × 8 $^{1}/_{2}$、7 $^{1}/_{4}$ × 10 $_{1}/_{2}$、8 × 13、8 $^{1}/_{2}$ × 13、8 $^{1}/_{4}$ × 13、4 $^{1}/_{8}$ × 9 $^{1}/_{2}$、3 $^{7}/_{8}$ × 7 $^{1}/_{2}$、C5 封筒、C6 封筒、DL 封筒、16K、不定形、郵便ハガキ、往復ハガキ
- 用紙種類
  印刷に使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  普通紙、中厚口 1、中厚口 2、再生紙、色紙、レターヘッド、印刷済み紙、パンチ済み紙、ラベル紙、ボンド紙、カードストック、厚紙 1、封筒
- 不定形
  用紙サイズで［不定形］を選択した場合、用紙の設定をします。
  - 単位
    用紙サイズの単位を mm または inch で指定します。
  - ヨコ
    用紙の横幅のサイズを 90mm から 216mm で選択します。
  - タテ
    用紙の縦幅のサイズを 148mm から 356mm で設定します。

補足

- 手差しトレイの設定はできません。

印刷位置や色ずれの調整をする

［調整 / 管理］タブで、色ずれや印刷位置の調整を行います。

通常は印刷条件の調整を行う必要はありませんが、特定の位置に印刷したい場合などに利用すると便利です。

［印刷位置調整：手差し］では、手差しトレイから印刷する場合、印刷位置の調整ができます。調整結果は、［調整シート印刷］をクリックして確認してください。

［プリンターファームウェアアップデート］をクリックするとファームウェアのアップデートができます。

ファームウェアの最新バージョンはリコーのホームページからダウンロードできます。

基本的な機能の設定をする

［システム］タブではプリンターの基本的な機能の設定を行います。工場出荷時の初期状態でも本機は使用できますが、ユーザーの使用条件に合わせて変更できます。変更された設定内容は電源を切ったあとも保存されます。

このタブでアクセスコードの変更ができます。

ネットワーク関連の変更をする

[ネットワーク 1]、[ネットワーク 2]、[ネットワーク 3] タブではネットワーク接続や通信の設定を行います。

この 3 つのタブでは、以下のような設定ができます。

- 機器名や有効プロトコル、その他プリンターの情報の確認
- インターフェースの設定
- TCP/IP 設定の確認と変更
- SNMP や SMTP 設定の確認と変更

機器の状態をメールで通知する

本機にトナーや用紙切れ、紙詰まりなどのアラートが発生したとき、メール通知機能を使用して機器の状態を通知できます。

重要

・メール通知機能は、ネットワーク接続時のみ使用できます。
・メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。アラートを通知するタイミングや状態なども設定できます。
以下の場合、メール通知できるよう設定できます。
・サービスコールが発生した場合
・トナーがなくなった場合
・トナーの残りがわずかになった場合
・廃トナーボトルが満杯になった場合
・廃トナーボトルが満杯に近づいた場合
・紙づまりがおきた場合
・ドアオープンが検知された場合
・紙がなくなった場合

その他、機器名やシリアルナンバー、トータルカウンターなどのプリンター情報の確認もできます。

1 **Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
Web Image Monitor のトップページが表示されます。

2 **［ログイン］をクリックします。**
ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

3 **ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

4 **左フレーム内のメニューで［設定］をクリックします。**

5 **［ネットワーク］をクリックします。**
［ネットワーク］画面が表示されます。

6 **［自動メール通知］を［する］にします。**

7 **設定画面で、必要な項目を設定します。**
SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。SMTP サーバーに対してメールの認証もできます。詳しくは「メールの認証について」を参照してください。

8 **［OK］をクリックします。**

4

補足

- 自動メール通知の設定は、Smart Organizing Monitor でも設定できます。

参照

- P.62 「メールの認証について」

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。
SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。
SMTP 認証の設定方法を説明します。

1. **Web Image Monitor の左フレーム内のメニューで [設定] をクリックします。**
2. **[設定] 画面で [ネットワーク] をクリックします。**
3. **設定画面に示された以下の項目を設定します。**
   - SMTP 認証：SMTP 認証の有効／無効を指定します。
   - SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
   - SMTP 認証ユーザー名：SMTP 認証で使用するユーザー名を半角の英数字で入力します。
   - SMTP 認証パスワード：SMTP 認証のユーザー名に対するパスワードを入力します。
4. **[OK] をクリックします。**
5. **[ログアウト] をクリックします。**
6. **Web ブラウザを閉じます。**

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得できます。
本機内蔵のイーサネットインターフェースでは UDP 上で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。

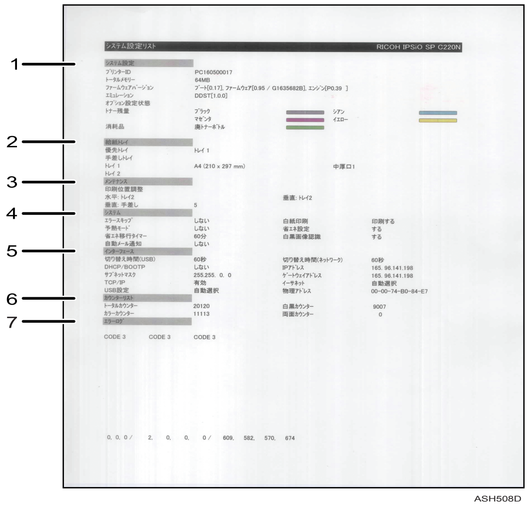
重要

- 本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、Web Image Monitor または Smart Organizing Monitor を使用して接続するパソコンの設定を変更してください。

工場出荷時のコミュニティ名には「private」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

システム設定リストの見かた

［プリンター設定］ダイアログで設定した内容が印刷されます。



1 システム設定
本機のバージョン情報やメモリ容量、トナー残量、プリンター言語の名称などが印刷されます。

2 給紙トレイ
優先給紙トレイとトレイにセットされている用紙のサイズと種類が印刷されます。

3 メンテナンス
印刷位置設定など、調整／管理メニューの設定項目が印刷されます。

4 システム
システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

5 インターフェース
インターフェース設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

6 カウンターリスト
現在のカウンター情報が印刷されます。

7 エラーログ
エラーログが印刷されます。

補足

- ［プリンター設定］ダイアログについて詳しくは、「プリンター設定ダイアログについて」を参照ください。

参照

- P.58 「プリンター設定ダイアログについて」

5. プリントサーバーを使用する

プリントサーバーを使用するための設定方法について説明します。

プリントサーバーの準備

以下の手順でネットワークプリンターを設定してください。

重要

- ［プリンタ］フォルダから、プリンタープロパティを変更するにはアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとして Windows にログオンしてください。

1. **［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタ］ウィンドウを開きます。**
   ［プリンタ］ウィンドウが表示されます。
   Windows XP、Windows Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。
2. **本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
   プリンターのプロパティが表示されます。
3. **［共有］タブをクリックし、［共有する］にチェックマークを付けます。**
4. **本機を他のバージョンの Windows を使用しているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバ］をクリックします。**
   プリンタードライバーをインストールしたときに、［共有］にチェックマークを付けて代替ドライバーをインストールした場合、この操作は必要ありません。
5. **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

6. Windows の補足情報

Windows で、コマンドを使ってファイルを開くことなく直接印刷する場合の手順について説明します。

Windows からのファイル直接印刷

lpr コマンドを使って印刷できます。

★重要

- この方法で印刷できるファイルは、DDST ドライバーで作成されたファイルのみです。

セットアップ

Windows からファイルを直接印刷するための、環境設定の方法について説明します。
以下の手順でセットアップを行ってください。

1. **Web Image Monitorを使用してTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなど TCP/IP に関するネットワーク環境を設定します。**
   本機の TCP/IP プロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2. **Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。**
   ネットワークに関する設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。
   DHCP を使用して本機の IPv4 アドレスを設定できます。詳しくは「DHCP を使用する」を参照してください。
   ホスト名を定義している場合は、IPv4 アドレスの代わりにホスト名も使用できます。詳しくは「IPv4 アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

3. **ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。**

   補足

   - 「UNIX 用印刷サービス」について詳しくは、Windows ヘルプを参照してください。

   参照

   - P.83 「DHCP を使用する」
   - P.68 「IPv4 アドレスの代わりにホスト名を使用する」

6

IPv4アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPv4アドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定できます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNSを使用している場合

DNSサーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCPを使用してプリンターのIPv4アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンターID」に印刷された名前をホスト名として使用します。システム設定リストの印刷について詳しくは、「プリンター設定ダイアログについて」を参照してください。

参照

・P.58「プリンター設定ダイアログについて」

その他の場合

印刷を行うコンピュータのhostsファイルに、ネットワークプリンターのIPv4アドレスとホスト名を追加します。追加の方法は、使用しているOSにより異なります。

1 メモ帳などでhostsファイルを開きます。

hostsファイルは以下の場所にあります。

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

¥WINNTはWindows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2のインストール先のディレクトリです。

2 hostsファイルにIPv4のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

```
192.168.15.16   ricoh   # NP
```

192.168.15.16はIPv4アドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr コマンドを使った印刷方法の説明です。
コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

- Windows 2000 の場合
  [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合
  [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]

補足

- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が満杯の状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
  - lpr: 10
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

lpr

6

♦ IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合

`c:> lpr -S プリンターの IP アドレス -P プリンター名 [-ol] ¥パス名¥ファイル名`

♦ IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

`c:> lpr -S プリンターのホスト名 -P プリンター名 [-ol] ¥パス名¥ファイル名`

バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

6

7. Mac OS X で使用する

この章では、Mac OS X 10.4.2 の環境での本機の使用方法について説明します。
お使いの OS のバージョンにより、表示される画面やボタンの名称は異なります。

プリンタードライバーのインストール

TCP/IP 環境または USB インターフェースを使用して本機を接続する場合の、設定方法について説明します。

1. 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
2. CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
3. [Mac OS X] フォルダをダブルクリックします。
4. [DDST ドライバー] のフォルダをダブルクリックします。
5. パッケージファイル（.pkg）のアイコンをダブルクリックします。
6. 画面に表示される指示に従ってインストールします。

補足

- プリンタードライバーをインストールすると、Smart Organizing Monitor も同時にインストールされます。Smart Organizing Monitor について詳しくは、「Smart Organizing Monitor を使う」を参照してください。
- インストールの途中で認証画面が表示された場合は、お使いのパソコンの管理者名とログインパスワードを入力してください。

参照

- P.76 「Smart Organizing Monitor を使う」

7

プリンターの設定

プリンタ設定ユーティリティで本機を設定する方法を説明します。

USB 接続で本機を使用する場合

USB インターフェースを使用して本機に接続する設定について説明します。
ドライバのインストール後、USB を使用してプリンターを接続し、電源を入れると、本機は自動的に設定されます。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

TCP/IP ポートを使用して本機を使用するとき

TCP/IP ポートを使用して本機を使用するには、以下の 4 つの手順を行なう必要があります。

1) USB 接続でプリンタードライバーをインストールします。
2) パソコンをUSBケーブルで接続し、[アプリケーション]フォルダからSmart Organizing Monitor を起動します。
3) Smart Organizing Monitor を使用して、本機の IP アドレスを設定します。
4) [プリントとファクス] ダイアログで本機を追加します。

7

参照

- P.76 「Smart Organizing Monitor のインストール」
- P.76 「Smart Organizing Monitor を使う」

プリンターの IP アドレスの設定

重要

- 以下の設定を行う前に、テストページを印刷し、本機の IP アドレスを確認しておく必要があります。テストページは、[ジョブリセット] キーを押しながらプリンターの電源を入れ、アラームランプが点滅するまでキーを押しつづけると印刷できます。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

2 [アプリケーション] フォルダから Smart Organizing Monitor を起動します。

3 [設定] タブの [初期設定] をクリックします。

4 [ネットワーク] タブを選択し、アクセスコードを入力します。

アクセスコードについては、管理者にお問い合わせください。

5 ポップアップメニューで [TCP/IP] を選択します。

6 本機の IP アドレスを入力し、設定します。

TCP/IP ポートで使用する

1 本機とパソコンをイーサネットケーブルで接続します。

2 [システム環境設定] を起動し、[プリントとファクス] をクリックします。
[プリントとファクス] ダイアログが表示されます。

3 [プリント] をクリックし、[+] をクリックします。
[プリンタブラウザ] ダイアログが表示されます。

4 [デフォルトブラウザ] をクリックします。

5 リストに表示される本機を選択し、[追加] をクリックします。

6 [プリントとファクス] ダイアログを終了します。

印刷に必要な条件を設定をする

印刷する前に必要な設定について説明します。
ここでは、Adobe Reader で開いた PDF ファイルの印刷方法を例に説明します。

アプリケーションから用紙を設定する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［ページ設定］をクリックします。
3. 本機が［対象プリンタ］に表示されていることを確認し、［用紙処理］を選択して印刷する用紙サイズの設定をします。
   ［対象プリンタ］に本機が表示されない場合は、本機を選択してください。
4. 必要な設定をした後、［OK］をクリックします。

補足

- ［プリント］ダイアログの表示はアプリケーションによって多少異なります。詳細は Mac OS X のマニュアルを参照してください。

アプリケーションから印刷条件を設定する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。
3. ［プリンタ］リストから本機を選択し、印刷条件を設定します。
4. 必要な設定をした後、［プリント］をクリックします。

パソコンから印刷ジョブを中止する

1. [システム環境設定]を起動し、[プリントとファクス]をクリックします。
2. [プリント]タブをクリックし、[プリンタ]リストに表示されている本機の名前をダブルクリックします。
3. 印刷を取り消すジョブを選択し、[削除]をクリックします。

補足

- 複数のパソコンで本機を共有している場合、他のユーザーのジョブを中止しないようご注意ください。
- 印刷中のデータは印刷の中止ができません。そのため、印刷ジョブを取り消してからしばらくはデータの印刷が続くことがあります。
- 大容量データの印刷を中止するには多少時間がかかることがあります。

Smart Organizing Monitor を使う

Mac OS X での、Smart Organizing Monitor の使い方について説明します。
Smart Organizing Monitor を使用すると、プリンターの状態確認や設定内容の変更をパソコンから行えます。
Smart Organizing Monitor でできることは以下のとおりです。

- プリンターの状態と設定内容の表示
- 設定確認リストの印刷
- 給紙トレイにセットする用紙の設定
- 給紙トレイの設定
- 工場出荷時の設定の変更
- ネットワークプロトコルの設定
- プリンターの設定
- プリンターの状態と消耗品の状態の表示

Smart Organizing Monitor のインストール

Smart Organizing Monitor はプリンターのインストール時に自動的にインストールされます。

参照

- P.71 「プリンタードライバーのインストール」

7

Smart Organizing Monitor ダイアログを表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログの表示方法は、以下の通りになります。

◆ [システム環境設定] の [プリントとファクス] から表示する

1. [システム環境設定] を起動し、[プリントとファクス] をクリックします。
2. [プリント] タブをクリックし、[プリンタ] リストに表示されている本機の名前をダブルクリックします。
3. ツールバーの [ユーティリティ] をクリックします。

◆ [アプリケーション] フォルダから表示する

[アプリケーション] フォルダから、「Ricoh IPSiO SP C220 Smart Organizing Monitor for DDST」を起動します。

プリンターの状態を表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログでは、監視対象になっているプリンターの状態を確認できます。
プリンターの状態は、画像とコメントで表示されます。
［プリンタ］で状態を表示するプリンターを選択します。USB ケーブルでパソコンに接続されているプリンターは、［USB 接続機器］の下にプリンター名が自動的に表示されます。TCP/IP で接続されているプリンターは、［ネットワークプリンター］の下にプリンターの IP アドレスが表示されます。
特定のネットワークプリンターを監視する場合は、［プリンターに接続中です ...］をクリックして表示される画面にプリンターの IP アドレスを入力します。

プリンター情報を表示する

Smart Organizing Monitor ダイアログには、［状態］、［ジョブログ］、［設定］の 3 つのタブがあります。これらのタブでは、監視するプリンターの状態、ジョブ履歴、設定内容などの情報を表示できます。

プリンター状態の表示

［状態］タブをクリックすると、機器名とその下にツリーが表示されます。ツリー上のアイテムをクリックしてプリンター状態の詳細を確認できます。

7

♦ トナー

各トナーの残量状態が、数字でのレベル表示（残量レベル 1～5）、" 残りわずか "、または " なし " で表示されます。
トナーの状態は、アイコンでも表示されます。

♦ 給紙トレイ

給紙トレイに関する以下の情報を確認できます。
- 給紙トレイ
  給紙トレイを表示します。
- 状態
  アイコンで給紙トレイの状態を表示します。
- 用紙サイズ
  給紙トレイにセットされた用紙サイズが表示されます。
- 用紙種類
  給紙トレイにセットされた用紙の種類が表示されます。

♦ その他

消耗品の名称が表示され、残量状態がアイコンで表示されます。

♦ システム

モデル名やシステムバージョン、メモリーサイズなどのシステム情報が表示されます。

♦ カウンター

カウンター情報を表示します。

♦ ネットワーク

プリンターのコメント、IP アドレスなどのネットワークに関連したプリンターの情報が表示されます。

補足

- Smart Organizing Monitor ダイアログ内の項目について詳しくは、Smart Organizing Monitor のヘルプを参照してください。

ジョブ履歴を表示する

［ジョブログ］タブをクリックすると印刷ジョブの情報が一覧で表示されます。
表示される内容は以下のとおりです。

◆ **ユーザー名**
印刷したユーザーの名前です。

◆ **ファイル名**
印刷した文書名です。

◆ **ページ数**
印刷したページ数です。

◆ **開始日**
印刷の指示を行った日時です。

◆ **状態**
印刷ジョブの現在の状態です。

プリンターの設定内容を印刷する

［設定］タブでは、プリンター情報の一覧を印刷できます。

重要

- プリンターが印刷ジョブを行っている間は設定ページの印刷はできません。
- この機能を使用するためには、以下の条件が必要です。
  - 対象となるプリンターが Smart Organizing Monitor で監視されている。
  - 使用しているプリンタードライバーが Smart Organizing Monitor に対応している。

［テスト印刷］一覧から印刷したいリストを選択してください。以下の内容が印刷できます。

◆ **システム設定リスト**
プリンターの設定内容や基本情報が印刷できます。

◆ **テストページ**
テストページを印刷して機器の状態を確認できます。

システム設定リストでは、本機の基本情報や設定内容の確認ができます。
システム設定リストの印刷を例に印刷方法を説明します。

1 **［設定］タブの［テスト印刷］で［システム設定リスト］を選択します。**

2 **［印刷］をクリックします。**
システム設定リストが印刷されます。

補足

- システム設定リストに印刷される項目について詳しくは、「システム設定リストの見かた」を参照してください。

参照

- P.64 「システム設定リストの見かた」

プリンター設定ダイアログについて

［設定］タブの［初期設定］をクリックすると、［プリンター設定］ダイアログで、本機の設定ができます。
［プリンター設定］ダイアログでは、以下の設定内容の変更ができます。

- 機器本体
- 給紙トレイ
- 給紙トレイの用紙設定
- ネットワークプロトコル
- 工場出荷時の初期設定

補足

- ［プリンター設定］ダイアログで設定できる項目について詳しくは、Smart Organizing Monitor のヘルプを参照してください。

メニューとモードについて

［プリンター設定］ダイアログには、管理者モードかゲストモードでアクセスできます。
ログインするモードによって［プリンター設定］ダイアログに表示されるメニューは異なります。

◆ 管理者モード

表示される画面でアクセスコードを入力します。
管理者モードでは［プリンター設定］ダイアログのすべてのタブが使用できます。

補足

- アクセスコードについては、管理者にお問い合わせください。

◆ ゲストモード

ゲストモードでは、［用紙］タブの設定のみ変更できます。

用紙設定を変更する

［用紙］タブでトレイ 1 の用紙サイズなど用紙に関する設定が変更できます。

- 用紙サイズ
  設定可能な用紙サイズは次のとおりです。
  A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、A5（148 × 210 mm）、B6（128 × 182 mm）、A6（105 × 148 mm）、$8\ ^{1}/_{2} \times 14$、$8\ ^{1}/_{2} \times 11$、$5\ ^{1}/_{2} \times 8\ ^{1}/_{2}$、$7\ ^{1}/_{4} \times 10\ ^{1}/_{2}$、8 × 13、$8\ ^{1}/_{2} \times 13$、$8\ ^{1}/_{4} \times 13$、$4\ ^{1}/_{8} \times 9\ ^{1}/_{2}$、$3\ ^{7}/_{8} \times 7\ ^{1}/_{2}$、C5 封筒、C6 封筒、DL 封筒、16K、郵便ハガキ、往復ハガキ、不定形
- 用紙種類
  印刷に使用できる用紙の種類は次のとおりです。
  普通紙、中厚口 1、中厚口 2、再生紙、色紙、印刷済み紙、パンチ済み紙、厚紙 1、レターヘッド、ボンド紙、カードストック、ラベル紙、封筒
- 不定形
  用紙サイズで［不定形］を選択した場合、用紙の設定をします。
  - 単位
    用紙サイズの単位を mm または inch で指定します。
  - ヨコ
    用紙の横幅のサイズを 90mm から 216mm で設定します。
  - タテ
    用紙の縦幅のサイズを 148mm から 356mm で設定します。

印刷位置や色ずれの調整をする

［調整 / 管理］タブで、色ずれや印刷位置の調整を行います。
通常は印刷条件の調整を行う必要はありませんが、特定の位置に印刷したい場合などに利用すると便利です。
［印刷位置調整：手差し］では、手差しトレイから印刷する場合、印刷位置の調整ができます。調整結果は、［調整シート印刷］をして確認してください。
［プリンターファームウェアアップデート］をクリックするとファームウェアのアップデートができます。
ファームウェアの最新バージョンはリコーのホームページからダウンロードできます。

基本的な機能の設定をする

［システム］タブではプリンターの基本的な機能の設定を行います。工場出荷時の初期状態でも本機は使用できますが、ユーザーの使用条件に合わせて変更できます。変更された設定内容は電源を切ったあとも保存されます。
このタブでアクセスコードの変更ができます。

ネットワーク関連の変更をする

［ネットワーク］タブではネットワーク接続や通信の設定を行います。
ここでは、以下のような設定ができます。

- 機器名や有効プロトコル、その他プリンターの情報の確認
- インターフェースの設定
- TCP/IP 設定の確認と変更
- SNMP や SMTP 設定の確認と変更

7

8. 付録

同梱の CD-ROM や、その他の注意事項等についての説明です。

CD-ROM 収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.7 「印刷するための準備」
DDST プリンタードライバー（Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用）	P.82 「DDST プリンタードライバー」
DDST プリンタードライバー（Mac OS X 用）	P.82 「DDST プリンタードライバー」
Smart Organizing Monitor	P.82 「Smart Organizing Monitor」
各種マニュアル（HTML ファイル）	P.82 「各種マニュアル（HTML ファイル）」

DDST プリンタードライバー

Windows または Mac OS X を使用して印刷するために必要なソフトウェアです。

格納場所と動作環境について

ファイルの格納場所と動作環境について説明します。

♦ **ファイル格納場所**

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用 DDST プリンタードライバー
  DRIVERS\DDST\XP_VISTA\DISK1
- Mac OS X 用 DDST プリンタードライバー
  Mac OS X\DDST Driver

♦ **プリンタードライバーの動作環境**

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
- 対象 OS
  Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
  Power PC 日本語版 Ma c OS X 10.2.8 以降（Mac OS X 10.0.X には対応していません。）
  IntelCPU 日本語版 Ma c OS X 10.4.4 以降
- ディスプレイ解像度
  1024×768 ドット以上

補足

- 使用方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

8

Smart Organizing Monitor

Smart Organizing Monitor を使用すると、パソコンから給紙トレイやネットワーク関連の設定を行うことができます。Smart Organizing Monitor について詳しくは、「Smart Organizing Monitor を使う」を参照してください。

♦ **ファイル格納場所**

Windows の場合は、同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。
UTILITY

参照

- P.52 「Smart Organizing Monitor を使う」（Windows）

各種マニュアル（HTML ファイル）

各種マニュアル（HTML ファイル）のファイル格納場所についての説明です。

♦ **ファイル格納場所**

同梱の CD-ROM 内に格納されています。

ネットワークで運用する場合の注意事項

DHCP を使用する

本機は DHCP 環境で使用できます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server および Windows Server 2003 です。
- DHCP リレーエージェントには対応していません。ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線に接続され、多大な通信料がかかることがあります。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

AutoNet 機能を使用する

DHCPサーバーからIPv4アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に169.254.xxx.xxx で始まるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

本機の IP アドレスに、AutoNet 機能で自動選択された IP アドレスを設定すると、本機の電源を切るたびに IP アドレスは変更されます。

ご使用のネットワーク環境に適した、IP アドレスを設定することをお勧めします。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷できなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、「プリンターの設定内容を印刷する」を参照してください。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

参照

- P.57 「プリンターの設定内容を印刷する」

8

Windows ターミナルサービス/MetaFrame を使用する場合

Windows ターミナルサービスと MetaFrame の使用について説明します。

動作環境

使用可能な OS と MetaFrame との組み合わせは次のとおりです。

◆ Windows 2000 Server/Advanced Server

- MetaFrame XP 1.0 SP1/SP2/SP3/SP4/FR1/FR2/FR3
- MetaFrame Presentation Server 3.0
- Citrix Presentation Server 4.0

◆ Windows Server 2003

- MetaFrame XP 1.0 FR3
- MetaFrame Presentation Server 3.0
- Citrix Presentation Server 4.0

制限

動作が制限される環境についての説明です。

♦ 印刷時

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生する場合があります。事前検証のうえ、運用してください。

♦「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrame サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrame サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0 以降をご使用の場合は、「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処を行ってください。
  - MetaFrame XP1.0 SP1/SP2/SP3/FR1 の場合
    レジストリで「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します（詳細については MetaFrame の Readme を参照してください）。
  - MetaFrame XP1.0 FR2/FR3、または MetaFrame Presentation Server 3.0 の場合
    Citrix 管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

♦「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

補足

- 制限事項の詳細については、リコーホームページを参照してください。

8

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobat、PostScript、Reader は、Adobe Systems,Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の登録商標です。
- NetWare は、米国 Novell,Inc. の登録商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国々における登録商標です。
- Citrix、MetaFrame は、Citrix System, Inc. の登録商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

* Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

* Windows XP の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® XP Professional
Microsoft® Windows® XP Home Edition

* Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Microsoft® Windows Vista® Enterprise
Microsoft® Windows Vista® Business
Microsoft® Windows Vista® Home Premium
Microsoft® Windows Vista® Home Basic

* Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

* Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

重要

- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

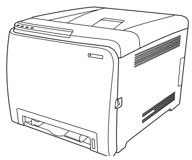
機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO SP C220 使用説明書〈ソフトウェアガイド〉



消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOH のホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9 時～ 18 時／土曜日 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時　（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- インターネット / リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。
本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　2007 年 12 月 G165-8507A